・日　時　令和８年１０月２日（金）午前９時００分～
・場　所　八尾市役所第２委員会室
・出席者　市長・副市長・教育長・病院事業管理者・各部局長・理事等

# 令和８年度　第７回部長会概要記録

日時：令和８年１０月２日
午前９時～
場所：８階　第２委員会室

**【市長あいさつ】**

皆さん、おはようございます。令和８年度第７回部長会にお集まりいただき、大変ご苦労様です。早いもので今年度も半年が終了し、後半戦に入りました。

一昨日、令和７年の国勢調査の確定値が総務省から公表されました。なかでも、全国の６５歳以上の高齢者の割合が、２９，４％と、前回の調査より０．９ポイントアップし、過去最高となりました。本市においては、人口は、前回の調査から７，０６３人減少し、２５万７，５７９人となり、６５歳以上の高齢者の割合は２８，４％となりました。

今年度の市政運営方針に、人口減少社会への対応策について具体的に提示しておりますが、各部局においては、今回の結果を受けて、あらためて、現在の事務事業を見つめ直しながら、事業の立案や予算の編成に当たっていただくようお願いしておきます。

さて、依然として全国各地で　自然災害が多発しています。とりわけ、下水道管からの水流逆流や内水氾濫など下水道施設が被災した場合の対策や備えが急務となっています。本市は、優先度の高い病院や避難所といった２４の施設の下水道管の耐震診断を今年度中に実施して、令和１１年度中に耐震改修を完了させる予定です。

多発する自然災害を受けて、下水道や道路などインフラの安全性に対する市民の関心やニーズが高まっています。市民の皆様の安全を確保するために、これらインフラ整備の着実な進捗管理をお願いしておきます。

安全・安心な暮らしという点では、これまで町会が管理してきた防犯灯を今年度から市が直接管理する大きな方針転換を行いました。この半年の間に、約２万灯の防犯灯のうち、約８割の１万６千灯について、地域からの移管申請を受け付けることができました。さらに、これまで補助の対象としていなかった町会未加入地域の市民からも暗がりをなくすために、防犯灯の新設申し込みが多数寄せられております。各地域での夜間の立ち会いなどに従事する担当者の皆さんに感謝いたします。

今年度の防犯灯の新設の申請は、１１月３０日までとしています。引き続き、暗がりをなくし、市民の安全性を高める取り組みを進めるために市民・地域から相談等があった際は、しっかりと危機管理課と連携を図っていただきますようお願いしておきます。

安全性という点では、近鉄八尾駅前噴水広場は、芝生化によって、見通しも良くなり、さらに、八尾ライオンズクラブに寄贈いただいたモニュメントをライトアップすることで、夜間も明るく、より安全で安心できる空間に生まれ変わりました。

９月２６日、この噴水広場の愛称を「きんやおひろば」と決定しました。２３５件の応募があり、応募者アンケートの結果によると、約９割の方が、「賑わいの場所」や「憩いの場所」としての活用を期待されておりました。

１０月３１日には、ここで「第４９回八尾河内音頭まつり」の「河内音頭グランプリ」が予定されています。「きんやおひろば」の誕生によって市民の皆さんの文化活動や交流がさらに活性化することを期待しています。

１０月は「八尾市いじめ防止啓発月間」です。１０月２８日には今年度２回目のピンクシャツデーを実施します。こうした八尾市独自の取り組みをはじめ、本市の「いじめから子どもを守る」施策を６月に、文部科学大臣に伝えたところ、大きな関心を寄せられていました。令和７年度のいじめ認知件数は、約２，４００件となっており、「ピンクシャツ」の啓発や「いじめ相談アプリ」運用の効果がうかがえます。

引き続き、いじめの早期発見を進め、学校・家庭・地域と連携しながら、子どもたちをいじめから守っていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

来週から、市議会の決算審査が始まります。令和７年度を振り返った時、それぞれの部局の職員が市民のために懸命に働いていたことが思い出され、私も大変誇らしく感じています。どうか、自信を持って説明を尽くしていただくようお願い致します。

最後に、昨日、１１名の新規採用職員が入庁しました。社会人経験者として、これまで培った知識や経験を生かし、市民のためにそれぞれの職場で、活躍していただくことを期待しています。各部局長には、それぞれの職員が能力を発揮できる“風通しの良い職場”の一層の推進をお願いしておきます。

朝晩の冷え込みも厳しくなってまいりました。体調管理には十分留意するようお願いするとともに、年休取得促進期間の１０月、計画的に休暇を取得できるよう、職場での声掛けや雰囲気づくりなどを期待して、私からの挨拶といたします。

**案件**

**１　令和8年度所属長向けDX研修の開催について　　政策企画部長**

八尾市では、各業務担当部局におけるDXを進めるため、DXを組織的にコーディネート・実行していくことのできる「DX推進リーダー」制度を設け、各部局からこのリーダー候補生を選出いただいたうえで決定し、DX推進リーダー育成研修を継続的に実施しているところです。

一方、このDX推進リーダーの活動が円滑に行われるためには、DXに対する所属長の理解と適切なマネジメント力が必要不可欠であるため、昨年度に引き続き、八尾市専門委員である「米田宗義（よねだ　むねよし）」氏を講師としてお招きして、所属長等を対象としたDX研修を開催いたします。なお、研修の詳細につきましては別途、担当課より案内をさせていただきます。部局長におかれましては、研修の趣旨をご理解賜り、部局内への周知をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

**意見なし**

**２　令和9年度当初予算編成方針および予算編成に向けた協力依頼について　　財政部長**

令和9年度当初予算編成にあたっての予算編成方針等の各種資料については、10月7日頃に共通ライブラリへの掲載を予定しておりますので、部内各所属へ遺漏のないよう周知のほど、よろ

しくお願いいたします。
【令和7年度の決算状況】
　令和7年度一般会計決算では、財政調整基金を取り崩すことなく、実質収支は20億1200万円、単年度収支は2億1400万の黒字となり、歳入面で繰越金や市税、普通交付税等が増加したことが大きな要因となっています。一方、歳出面では、扶助費や公債費などの義務的経費で23億円を超える大幅な増加となっており、さらには物価高や労務単価の上昇により経常経費全体が増加しています。
【新年度予算編成における影響要因等】
　物価高や労務単価の上昇等による関連経費の増への対応をはじめ、システム標準化やDX等に関する経費の増加のほか消防庁舎、市営住宅の建替えなどが見込まれており、1次要求ベースでは重点事業に関する予算要求だけで対前年度約9億円の増となっています。実施計画での新規・拡大要求に合わせての縮小・廃止などの見直しはなく、歳出予算規模は膨らみ続けており、歳入予算規模を大きく上回り、一次要求の一般財源ベースで60億円以上の収支マイナスという状況となっています。
【協力依頼事項】
　各部局におかれましては、かねてからお願いしております、委託業務をはじめとする仕様の見直しや、事業及び業務量の縮減による人件費等の抑制を行っていただきますようお願いいたします。事業費が拡大する場合は、部局内でのご調整による既存事業費の削減とセットで要求いただくなど、財源の確保をしていただき、編成作業を行っていただきますようお願いいたします。なお、必要に応じて統一的な歳出予算総額の抑制策を実施しなければならない可能性もありますので、何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。予算編成方針をお示しする前に、誠に恐縮ですが、事業及び事業費の見直しに徹底して取り組んでいただき、予算要求をしていただきますようお願いします。本案件は、総務担当所属長会議においても説明させて頂きますので、よろしくお願いいたします。

**意見なし**

**3　令和8年度はたちのつどい職員応援依頼について　　こども若者部長**

　令和8年度はたちのつどいへの職員応援につきまして、ご依頼申し上げます。
　今回の式典は、令和9年1月 10 日(日)（成人の日の前日)に、八尾市文化会館プリズムホールにて、開催いたします。スケジュールについては、午前の部が 10 時 30 分～12 時 30 分まで、午後の部が 14 時～16 時までの開催となり、午前・午後とも同内容で実施します。
　本日付で別紙1のとおり、依頼文書をお送りする予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

**意見なし**

**4　各施策におけるこどものこえの反映について　　こども若者部長**

　各施策におけるこどものこえの反映について、ご依頼申し上げます。
「こどもまんなかやおのまち」実現に向けて、こども若者政策課では、令和7年度のこどもの意見を実現する事業実施を経て「こどもの意見反映の仕組み」ツールを作成いたしました。本ツールでは、こどもの声を聴き、事業や取り組みに反映していく一連の流れをパーツに分け、それぞれのステップでどのように取り組めるかを解説し、こどもの意見反映の仕組みについて事例を交え掲載し

ています。また、巻末には、各ステップを踏まえた仕組みの提案パッケージとして事例を6つ掲載しおります。

下記、「関連書類の掲示場所」に掲載しているアドレスから、「こどもの意見反映の仕組み」ツール及びこのツールができた経過をまとめた実績報告書を見ていただけます。なお、掲載しております内容は、委託事業者からの成果物資料のままとなっており、現在これをもとに、よりわかりやすい簡易版を作成しているところです。今回掲載の資料では、まず、こどもの意見反映のポイントを理解いただき、実際に原課で取り組んでいただく際には、追って掲載する簡易版を活用していただければと考えております。

八尾市こども計画においては、「こどものこえを聴き、こどものしあわせをいちばんに考える『みんなでつくる“こどもまんなかやおのまち”』」を基本理念に掲げ、こどもの最善の利益を考え、大人が決めて進めるのではなく、こどもを主体としてこどもや子育て当事者の視点や内なる感情を尊重し、対話しながらまちづくりをともに進めるとしています。

各部局におかれましても、こどもに関わる事業を中心に、こどもの声を事業実施のプロセスに取り入れていただきたいと考えており、また、その際には、本ツールをぜひご活用いいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いしたします。なお、本件の詳細につきましては、本日午後に開催の総務担当所属長会議で説明、依頼をさせていただきます。

**意見なし**

・その他

奥田選挙管理委員会事務局長より、令和9年春の統一地方選挙の日程について、政府が前半を4月11日に、 後半を4月25日に実施の方針を固め、今後、臨時国会に選挙期日を定める特例法を提出する、との報道があった旨の報告がなされた。